



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)

## 記録保存ではなく現地保存し史跡指定を



質問する門司区永黒の土井さん (西日本新聞より)



説明資料はなく画面で説明の片山副市長

初代門司港駅跡遺構と複合公共施設  
初めての市民説明会に130人が参加

北九州市は5月29日、初代門司港駅跡(旧門司駅)の鉄道関連遺構が見つかった場所ですすめている、門司港複合公共施設の整備計画に関する説明会を門司区の門司生涯学習センターで開催し、約130人が参加しました。市は一貫して遺構を切り取り壊して施設整備を強行する方針を示しました。

遺構が見つかった初めての市民説明会でしたが、14時から会場受付がはじまり氏名を記入したあと番号札による席が指定されました。また会場からの質問は「slido(スライド)アプリ」を使ってのスマホ送信による質問とアンケート用紙への記入する方式で質問と回答を行うことを司会者(民間)が説明をしました。

これに対して「市民の声を直接聞くのではないのか」「挙手による質問を市は受けるべき」などの声が相次ぐ中、結局、挙手による質疑や意見聴衆も行われました。

市は片山副市長から、複合公共施設の建設事業を急ぐ理由に門司区役所の建て替えが他区と比べて遅れていることを強調し、上村都市戦略局長は複合施設の施設内容を紹介。遺構関連について井上都市ブランド創造局長が建設費は122億5千万円と当初試算の1.5倍に膨れ、遺構を一部残す場合は200億円~250億円となる試算結果を示しましたが、文化財的価値についての説明は全くありませ

んでした。

参加者から「遺構を残して公共施設を2階以上に作れないか」、「複合型にこだわる必要があるのか。門司港駅はレトロの象徴のようなどころ。その隣に近代的な施設は違和感。古きを残す、既存の建物の耐震化とカリフォルム、リノベーションでどうにかならないのだろうか」「遺構の価値について説明がないのはなぜか?」など、遺構保存を求める声が多数をしめる中、一方で「施設の建設を進めてほしい」、「今まで積み上げてきたものを無にしないで」などの早期建設を求める意見がスクリーンに表示されました。質問は191件にのぼり、司会者が読み上げるだけで多くの時間を要しました。当初1時間の予定が2時間を超える市民説明会となりました。

説明会の様子は後日、YouTubeで放映する予定。また、市民説明会は現在門司区の各校区自治会を中心に行われていますが、役員への説明会になっています。市民参加の説明会を広く求め、取り組みを強めていきましょう。

5月21日北九州市に対して、11の学術団体が合同提出した要望書を北九州市は真摯に受けとめ関係団体と協議を行うべきです。また、記録保存のための発掘ではなく史跡指定をめざす重要遺跡確認調査を行うことを求めています。

(右は要望書)

2024年5月21日

初代門司港駅跡の保存を求める11学会合同要望書

九州近代考古学研究会 九州考古学会 九州産業遺産研究会 建築史学会  
考古学研究会 産業遺産学会 鉄道史学会 都市史学会 日本イコモス国内委員会  
日本考古学協会 文化財保存全国協議会

北九州市で発見された初代門司港駅跡遺構に関し私たちが文化遺産に関わる11の学術研究団体(以下、「11学会」という)は深い関心を寄せ、既に11学会から保存要望書を提出するなどしているところで、この遺構は、地域史を越え、日本史、アジア史、世界史の観点から考古学、都市史、鉄道史、産業史、建築、土木などの幅広い領域に関わる特筆すべき価値を有していますが、それにもかかわらず、その価値は十分に理解を得られていないと懸念をもち、したがって、このたび改めて合同でその価値を申し述べ、遺構の保存を要望することといたしました。

私たちは初代門司港駅跡遺構を以下のように認識しています。  
門司の歴史的意義は、二つの近代インフラである港湾と鉄道が明治24年(1891)にまったく新しく、そして同時に建設されたことにあります。  
門司は当初、港湾機能を持っていませんでしたが、明治22年(1889)に設立された門司築港会社が後援・埋立をおこなって、明治24年(1891)に近代港湾を整備しました。この過程には渋沢栄一などの資本家の参画がありました。  
築港と平行して明治24年(1891)、当時の日本における代表的な私鉄であった九州鉄道の博多-門司間の開通とともに門司(初代)が設置されました。これによって、陸上海上交通の一大結節点としての門司が誕生することになります。  
海外との玄関口となった門司海峡には、北朝鮮の青島であった下関と、背後に筑紫野田という石炭の一大供給地を抱えた門司港の両港が、特別輸出港や大陸との定期航路の寄港地に指定され、国際港湾都市として一躍注目を集めることになりました。  
鉄道は産炭地から直結して石炭を門司へと運び、それらは阪神地区や東アジアへと輸出されました。

明治34年(1901)に山陽鉄道が対岸の豊前(下関)まで達し、同鉄道の連絡線が門司海峡を開設すると、全国的な鉄道ネットワークの観点としての門司の重要性はさらに高まりました。  
造成された門司の市街地には三井物産・三菱合資・大阪商船・日本郵船など、当時の日本を代表する企業の支店・出張所が立ち並びました。門司はまさにわが国の典型的な近代都市のモデルとなったのです。  
今回、発掘で姿をあらわした遺構は、上記の近代海峽都市門司の誕生の瞬間を余すことなく伝えています。①先行する都市集積のなかつた風潮において、港湾と鉄道という近代インフラを直結するから成り立ち近代都市として、②日本はもとより東アジア、さらには世界につながる海峽都市として、この二つの局面を示す実物がほぼ完全な状態で遺構の下に残されていたことはまさに奇跡と賞讃されるべきです。このかけがえのない遺構は北九州市にとどまらず、日本さらには東アジア、世界の近代に接続していく世界的な価値を有する遺産なのです。  
さらに述べれば、今回発掘調査された場所の周辺には、初代-二代目門司の遺跡が埋蔵されていることが推察されます。将来的に発掘が進めば初代門司の全貌が明らかになり、ひいては日本における近代都市の発展である門司がどのように構築・計画されたかが解明される可能性を多に秘めています。  
遺構が保存された際には、日本のモデル的近代都市の誕生を示す物証として国史跡に指定される可能性も有すると考えます。さらに、日本各地の他都市の近代交通遺構と一体的に、日本の初期鉄道遺構として世界文化遺産として推薦するに値するものとも考えます。

以上を踏まえ、私たち11学会は以下を要望します。

- 近代日本史及び世界史において特筆すべき価値を有し、重要遺構である初代門司港駅跡遺構を、現在及び将来の市民・国民・全人類が享受できるように、現地で全面的に保存すること。
- そのために、今後実施する発掘調査を、記録保存のための行政発掘ではなく、史跡指定を目的とした学術調査(重要遺跡確認調査)へと切り替えるべく、北九州市、福岡県、文化庁が協議すること。このための学術委員会を設置すること。
- 初代および二代目門司に關する建築・構造物が存在していたと考えられる区域を広く、埋蔵文化財包蔵地として指定すること。

日本として世界遺産である初代門司港駅跡遺構の学術調査、保存活用に際して、私たち11学会も最大限の協力をする所存ですので、以上のことに宜しく配慮を賜りますようお願い申し上げます。

本要望書に対するご回答は2024年6月3日までに、下記へいただけますと幸いです。

## イスラエルのガザ虐殺に迫る

福岡県自治体問題研究所 第47回総会

木村牧師が記念講演



早良市民センターで6月1日に開催された研究所の第47回総会は、「イスラエルとパレスチナ問題を考える・・・戦争と平和をめぐる歴史的局面にあたって」をテーマにした木村公一牧師(神学博士・政治神学)の記念講演をめぐり、開会30分前から参加者が集まり始め、大変盛会でした。

ガザでのイスラエルの蛮行がなぜ起きているか、長い研究からもたらされた、詳細なレ

ジメをもとに、現代史の闇に迫った、充実した内容でした。

第1部記念講演は、研究所のホームページ、YouTubeで、全容が公開されています。

第2部総会(16:00~17:00)では、第1号議案(2023年度事業報告と2024年度事業計画)、第2号議案(2023年度決算と2024年度予算)が承認されました。

北九州母親大会

平和がいちばん



6月9日(日)午後、レインボープラザで、第61回北九州母親大会がありました。以下の内容で行われ、交流を深めました。

■分科会 13:00～15:00

第1分科会 学校給食費無償化をめざして!

報告:宮崎雄士さん

第2分科会 くらしと介護

助言者:森川尚子さん

第3分科会 平和と憲法

東敦子さん、神陽子さん

■全大会 15:10～16:00 運動交流の紹介

・業務に見合った教職員の増員と業務量の削減こそ必要  
高津 純子さん

・「高齢者補聴器購入助成金制度の創設を求める会」  
の取り組みについて 河村智重子さん

・所得税法56条廃止を求めて! 浦崎 明子さん

・門司港遺構の現地保存をつよく求めて! 中川研治さん

・「戦争の準備をやめさせよう!」 八記久美子さん

小倉南革新懇が総会

政権の暴走とめよう



6月16日(日)、小倉南区革新懇の第14回総会がありました。小倉南革新懇は、2010年9月23日結成されて以来毎年総会を開き活動方針を決め、地道に運動を広げてきています。

昨年に続いて記念講演をしたのは田村貴昭衆院議員。圧巻の講演でした。田村さんは、自民党の裏金事件や大軍拡・大增税、くらしの問題をめぐる党の国会論戦を紹介。「安保3文書」に基づく敵基地攻撃能力の保有など、5年間で43兆円の大軍拡・大增税を批判し、総選挙では、九州・沖縄で比例2議席を勝ち取り、岸田政権の暴走を必ず阻止しようと訴えました。

また藤沢加代市議が市議会報告。来年の市議選で藤沢氏のバトンを受ける新人の、うど浩一郎市議候補が「勝利のために全力で頑張る」と決意をのべました。

平和ネットが19日行動

自公政権退場させよう

6月19日(水)、今日は、平和をあきらめない北九州ネットの毎月19日の定例行動日。

小倉駅と折尾駅でアピールした。ちょうどこの日の午前中に抜け穴



だらけの政治資金規正法改悪案が自公の賛成多数で決まったばかり。リレートークも配布ビラも反響が良かった。国民、市民は自公政権にうんざりしている。社会は変えられる。平和をあきらめず力を集めましょう。

市民の会 企画運営委員会開催

武内市政の独断専行許さない

6月21日(金)、18:30～20:30、生涯学習総合センターで、「市民の会」は、企画運営委員会を開催しました。最初に、特別報告として荒川徹市議団長より市政報告。1年4カ月たっても、市民の声を全く聴かず、トップダウンで独断専行する武内市政を暴きました。ついで、7月4日(木)の幹事会に提案する活動方針について報告・討議しました。

その他として、植山光郎委員より、学習会「部落問題解決の地域的偏差研究と北九州市の同和行政検証プロジェクト(6月29日①1:30～16:00 北方市民センター)への参加要請がありました。最後に決算と予算案を承認しました。

三つの市民運動の報告

- ①「学校給食の無償化をめざす会」の活動状況について
- ② 高齢者補聴器購入助成制度の創設をめざす会」の活動状況について
- ③「初代門司港駅跡の保存を求める会」の活動状況について

北九社保協通信

報告・資料集 2024年5月号  
5月31日 事務局発行

「生活保護110番に10件の相談・・・」

物価高が高齢者や生保受給者を直撃!

2024年5月21日に奇数月の第3火曜日に継続して取り組んでいる「生活保護110番」を実施しました。当日は残念ながらマスコミの取材や事前報道もありませんでしたがこの間同様、地域に配布しているチラシを見ての電話相談が8件、面談相談が2件の計10件の相談がありました。今回も物価高騰の影響をうけて低年金の高齢者や生保受給者からの相談が多数ありました。「高齢の母親と2人住まいで2人の年金で何とか生活していたが、母が死去。自分の年金だけでは生活が苦しい」「高齢の両親の件で娘さんから相談。母が特養に入所中。2人合わせても年金が少なため入居費用など経済的支援をしてきたが、自身の子供が来年から大学に行くためこれ以上の援助が出来ない。」といった深刻な相談も寄せられました。また、60代単身の方から「年金も少なく役所に生保相談に行ったが受け付けてもらえなかった。」という方は話しを聞くと預貯金とバイクを所持していたため、預貯金が多いと難しい旨とバイクは状況に応じて所持も可能との話をしたが「預貯金があったらダメ。バイクは処分を役所で言われた」との事で「どうにもならないんですね」と一方的に電話を切られたが、役所の対応であきらめる方が少なくないと相談会を通して感じるところです。今後、国の物価高騰対策である激減緩和措置も終了予定であり、さらに生活が逼迫する方が増加する懸念もあり、引き続きそういった方々に寄り添い支援する活動を行っていききたいと思います。



小・中学校運動会で「学校給食無償化!」の宣伝行動を実施

北九州市社協が事務局を担う小倉北区区民の会で先月の小学校・中学校それぞれの入学式に合わせて実施した「入学おめでとう!給食無償化宣伝行動」に続き各学校で開催される運動会にお邪魔をし、宣伝・署名行動を実施しました。お孫さんの応援に遠方から来たという方と対話になり「北九州市は給食無償化になってないの。子育てしやす



街って言うのにおかしいですね。」と快く署名をしてくださいました。日にちを変えて小学校・中学校と各1校ずつの取り組みでしたが、それぞれ1時間の活動で両日合わせ93筆と多くの北九州市でも給食無償化を求める賛同署名を集めることができました。

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL 093-592-5000  
FAX 093-571-4346  
http://siminnokai.sakura.ne.jp  
e-mail:koe@siminnokai.com

